

事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部子ども総合センター
	03179-1	施設管理費(待機児童館費)	室名	子ども家庭室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	02:子育て支援	務	款 民生費
	施策の方向	03:仕事と子育てが両立できる社会づくり	科	項 児童福祉費
戦略プロジェクト		目	目 児童福祉総務費	

②目的・概要	対象	保育所及び認定こども園への入所を待機している児童
	目的	市内認可保育所及び認定こども園への入所を待機している児童に対し、一時的に保育を行うことにより、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図る。
	概要	保育所・認定こども園への入所を待機している児童に対し、保育を行うとともに、医療センター職員の児童を保育する院内保育を実施している。

			27年度	28年度
①	名称	委託料	計画値	
	補足		実績値	27,641
			単位	千円
②	名称	待機児童入所数	計画値	
	補足		実績値	28
			単位	人
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績					
				平成28年度末時点での入所児童数 19人(院内除く)					
④事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	732	
		事業費		31,418	29,776		一般職員人件費 ②	732	平均給与額×③
		国庫支出金		114	48		所要人員 ③	0.10	
		県支出金		114	48		臨時職員人件費 ④		
		地方債					受益者負担額 ⑤		
		その他		12,300	12,300		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		18,890	17,380				
		再掲	翌年度への繰越額						
			前年度からの繰越額						
			総人件費		①	732			
	総コスト		⑥	30,508					

⑤事業の評価	【事業の成果】	市内の認可保育所への入所を待機している児童を待機児童館(ばんび)で預かることにより、働く保護者が安心して子育てできる環境を整えることができた。 また、平成28年度の待機児童館の運営委託については、出来高払に変更し、委託料を減額することができた。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	待機児童館の利用者については、保護者の就労形態が変化しつつ、特に乳児(0歳・1歳)の入所児童が多く見られた。 また、0歳児及び1歳児の保育ニーズが高まっており、待機児童館の新たな利用方法を検討する必要がある。	

⑤事業の評価	【改善の方向性】	待機児童館の活用については、医療センターの院内保育所として活用すること以外に、平成27年4月からスタートした「子ども・子育て支援制度」による地域型保育事業の活用を検討し、運営費の削減と待機児童の縮減に努める。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切